

4 児童の「できた!」「分かった!」の質を高める学習過程の一場面 (1/8時)

教師と児童のやり取りの詳細

つかむ段階において、東小屋と西小屋の卵の重さの記録をいろいろな観点で読み取り、東小屋と西小屋の卵の重さの記録を比較するという課題につなげていく場面。

(場面絵を提示) 東小屋と西小屋で産まれた卵の重さを比べます。東小屋と西小屋では、毎朝、にわとりが卵を産んでいます。

にわとりは何羽いますか?

卵は何個産まれましたか?

何羽いるのかは分かりませんが、今朝、東小屋では16個の卵が産まれました。

大きさはどれくらいですか?

重さはどれくらいですか?

他に知りたいことはありませんか?

いろいろな重さがありますね。

いちばん重い卵の重さは…

卵の重さを調べた資料があります。これは、東小屋のにわとりが産んだ卵の重さを調べた表です。

12月10日に東小屋のにわとりが産んだ卵の重さ(g)															
①53	②48	③58	④63	⑤65	⑥58	⑦53	⑧56	⑨58	⑩57	⑪60	⑫55	⑬67	⑭50	⑮62	⑯57

いいことに気付いていますね。いちばん重い卵の重さだけでなく、この表から、いろいろなことが分かりそうですね。他にどんなことが分かりますか?

いちばん軽い卵の重さは48gです。

同じ重さの卵もあります。

40g台、50g台、60g台の卵の重さがあります。

計算すると卵の重さの合計や重さの平均が分かります。

みなさんが言ったことをまとめると、この表から「いちばん重い卵の重さ」「いちばん軽い卵の重さ」「同じ重さの卵の数」「卵の重さの合計」「卵の重さの平均」などいろいろなことが分かりますね。

では、東小屋では、重い卵はよく産まれているといえますか?

重い卵がよく産まれた基準がよく分かりません。

東小屋のことは分かったけれど、東小屋だけでは…

西小屋の資料もありますか? 西小屋と比べてみないと分からないと思います。

そうですね。では、西小屋のにわとりが産んだ卵の重さを調べて、東小屋のように調べてみましょう。

12月10日に西小屋のにわとりが産んだ卵の重さ(g)															
①50	②63	③54	④74	⑤63	⑥45	⑦54	⑧67	⑨60	⑩47	⑪68	⑫52	⑬57			

いちばん重い卵の重さは…

卵を産んだ数が違うなあ…

・「いちばん重い卵の重さ」「いちばん軽い卵の重さ」「全部の重さ」の合計など、表から分かることについて、いろいろな観点を出し、資料を読み取る観点を広げることが大切です。
 ・東小屋の表から分かることを整理した後に、西小屋の表についても調べるようにします。その際に、「東小屋では、重い卵はよく産まれているといえますか?」といった発問をすることで、1つの資料だけでは考えを進めることができないことや、他の資料の必要性にも気付かせることができます。